役割大きい取手工場

拠点再編、首都圏カバー

キリンビール 松沢　幸一社長に聞く

インタビューに答えるキリンビールの松沢幸一社長＝水戸市北見町

国内ビール類市場で昨年、9年ぶりに首位を奪還したキリンビールの松沢幸一社長が水戸市の茨城新聞社でインタビューに応じ、戦略や取手工場の役割などを語った。（報道部・松田拓朗）

―節約志向の中、第三のビールが堅調だ。

今年夏の猛暑という追い風を受け、上半期の全体のマイナス分を第三のビールが補ってくれた。中でも「のどごし〈生〉」は確固たる地位を占めている。楽観はできないが、今年も残り3カ月、勝ち抜きたい。

―ノンアルコールのビール風味飲料「キリンフリー」も好調。

去年の実績をベースに年間販売計画を作ったが、3割ほど超えて伸びている。市場がきっちり出来上がった。開発部門への女性の進出やグループ間交流などにより、発想が豊かになり、組織も元気になった。

―製造拠点再編の中で取手工場の役割は。

栃木工場などの閉鎖に伴い、一部の製造が移った。キリンフリーは9月、取手で製造を始め、すでに東日本エリアに配送している。来年春には酎ハイ「氷結」の製造も始める。全国11工場を9工場にするなど構造改革は痛みを伴ったが、操業40周年を迎えた取手工場の役割は大きく、大消費地である首都圏をカバーできる存在だ。

―キリンの長い歴史でも技術畑出身の社長は数少ない。

これまで「前向き」「自然体」「誠実」の三つを行動信条としてきた。「現場重視」も変わらない。全国の営業拠点を回る際は、必ず対話集会を開く。そこで従業員の話を直接聞き、議事録を各部門長にメール配信する。聞き心地の良い話だけでなく、生の声を本社で共有できるようにしている。そこから、将来へのヒントも生まれる。

経営トップの発言集

■営業活動

国産初の小型ジェット旅客機「MRJ（三菱リージョナルジェット）」。**三菱航空機の江川豪雄社長**（65）は、部品の製造段階に入ったことを受けて「これを弾みに営業活動をさらに強化したい。市場が大きい欧米の航空会社が有望な売り込み先だ」と意気込む。

米国に続き、2010年度内に欧州にも営業拠点を設ける。「既に何社かはMRJに強い関心を示している。万全の自信がある製造技術をアピールし、交渉にインパクトを与えたい」と受注拡大に手応えを感じていた。

■為替水準

石油連盟会長を務める**出光興産の天坊昭彦会長**（70）は、円高であれ円安であれ為替相場の急激な変動を警戒する。ガソリンなどの販売価格の乱高下は、石油元売り各社にとってマイナスの影響が大きいためだ。逆に「動きが落ち着いていれば為替の水準自体は気にならない」と話す。

一方で「個人的には自国の通貨が強ければ海外でいい思いができる」と出光興産会長としての顔ものぞかせる。円高が進めば海外資源の権益獲得のチャンスが広がるからだという。

■コメ先物

江戸時代に大阪・堂島米会所で始まったコメ先物取引。**東京穀物商品取引所の渡辺好明社長**（64）は「取引開始から280年の歴史のうち、中断しているのは（1939年から現在までの）70年間だけだ」と復活に意欲を見せる。

東穀取の売買高は危機的な水準まで低迷しており、本社ビルや土地を売却して経営改善に充てるのがやっと。政権交代に伴う農政転換を「いい時期が来た」と歓迎、コメ先物を起死回生策の柱にしたい考えだ。

運転管理システム導入

NTT茨城支店　安全指導に活用

ドライブレコーダーに取り付けられたカメラでは危険運転の映像も記録する

NTT茨城支店（清水健一郎支店長）は、支店の業務車両460台にドライブレコーダー（安全運転管理装置）のシステムを導入し、運用を始めた。携帯電話の通信機能を搭載したシステムで、走行データが自動転送され、安全運転の状況をネットで閲覧できるのが特徴。従業員の安全運転の指導に生かす。

導入したのは、NTTグループの日本カーソリューションズ（NCS）が開発したシステム「ドライブドクター」。車載器に通信機能を内蔵し、運転したデータが自動でNCSのデータセンターに転送、さらにインターネットで運行管理者にデータが提供される。

管理者はデータを基に運転者の運転状況を調べ、安全指導に生かす。急ブレーキや急停止の危ない運転をした際には車内カメラで自動撮影しデータカードに記録する。速度超過や一定時間以上のアイドリングをした際には車載器から警告音も出せる。

車ごとの記録をまとめた報告書や運転日報、統計グラフも自動で作れる。

従来型は、運転データをデータカードに記録し、カードを管理者のパソコンに移し替える例が多いが、ドライブドクターはデータを自動転送し、管理の手間を省いた。

同支店は安全運転指導のほか、エコドライブによる環境貢献などを進める。（綿引正雄）

表参道で新商品PR

千石匠　県産石の和風照明展示

千石匠が展示している「和のあかり」＝東京都港区北青山のRin

石材製造販売の千石匠（せんせき）（桜川市真壁町、千々松滋社長）は、中小企業基盤整備機構が表参道で運営するセレクトショップ「Rin（りん）」（東京都港区北青山）で、新商品として展開している石の和風照明の展示を始めた。地元産をはじめ、国産御影石にこだわった製品を首都圏の消費者にもアピールする。

展示品は「和のあかり」シリーズで、県産小目石を素材とした立方体の明かり（20㌢角、高さ40㌢）と、県産つくば石を自然のまま生かした明かり（20㌢角、高さ30㌢）の2種類。

同シリーズは地場石材などを活用し、同社職人が製造し、価格は2万円から。庭先や室内のインテリアとして人気がある。

Rinは全国の地場工芸品などを集め、一堂に展示。千々松社長は「石材商品の展示は珍しく、県産石や石材製造技術の魅力を一般の人に知ってもらうきっかけになれば」と話した。

同社はRinのほか、県内でもつくば市の生活用品店「スタイルショップ」や水戸市の家具店「ホームショック」などでも常設展示している。同社フリーダイヤル（0120）158661。（綿引正雄）

情報ファイル

■日立市指定管工事組合が安全大会　日立市指定管工事協同組合（仲川寛理事長）は7日、同市内で組合員や関係者ら約50人を集め、安全大会を開いた。仲川会長は「自主的な安全管理と労働者の人命尊重、健康の保持増進、快適な職場環境づくりを推進してほしい」とあいさつ＝**写真**。労災防止に尽力した優良従業員2人を表彰、寺門行輝日立労働基準監督署長や白土明市公営企業管理者らが祝辞を述べた。参加者全員で労働災害撲滅に向けた「安全の誓い」を唱和し安全意識の高揚を図った。

この人この仕事

「ヨーテル」プロ歌手　北川　桜さん

全国巡り本物伝える

「舞台衣装は何十万円もするけれど、普段は数百円のTシャツで過ごしています」という北川桜さん

独特の裏声を使った欧州アルプス地方の民族音楽「ヨーデル」の日本人女性プロ歌手の第一人者。キャリアは約18年。毎年数回は本場に渡りレッスンを受けながら、これまで日本のほぼ全都道府県を回り、本物のヨーデルを伝える。出演したステージは約2万回にのぼる。

「小さいころから歌ったり演劇に出たりするのが大好きで、自分が何かを表現することで、人が夢を持ってくれるような仕事をしたかった」。国立音楽大でクラシックの声楽を学んだが、来日したヨーデル歌手のステージを見る機会があり、「お客さんが喜ぶ顔が間近に見える楽しさにひかれた」ことからこの道に。

スイス、ドイツ、オーストリア各国で著名なヨーデル歌手の指導を受け08年に最高の1級を受賞。現地の新聞やテレビに取り上げられ、09年には日本人として初めてスイスでヨーデルのCDを出した。

「一口にヨーデルといっても、スイスでは自分たちの村の衣装を着て民族の誇りを歌い上げる。一方、ドイツやオーストリアではビール祭などでお客さんを盛り上げるタレント性も求められる」。その両方を身に付け、日本ではバンドを組んで民族楽器を使った演奏もするなど、多彩なコンサート活動を続けている。東京都出身。

取手に工場用地取得

伊藤ハム　5年以内に建設

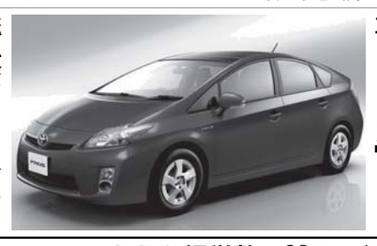
食肉加工販売大手の伊藤ハム（兵庫県西宮市）は13日までに、取手市下高井の特定土地区画整理事業地区「取手ゆめみ野」に約7㌶の工場用地を取得した。分譲する都市再生機構（UR）との間で土地の売買契約を結んだ。取得額は約27億円。来春にも引き渡しを受け、5年以内に食品工場を建設する計画。

工場の詳細については未定としている。同社は近隣の千葉県柏市に東京工場を稼働。守谷市にも研究所を持ち、機能を集約させる狙いもありそうだ。

取手ゆめみ野は1996年に着工し、総事業面積79・7㌶。来春に開設される関東鉄道常総線の新駅「ゆめみ野」を中心としたまちづくりが進んでいる。住宅用地は計画人口6100人、戸数1970戸で、ほかに商業施設、企業などの用地で構成。URは伊藤ハムの工場周辺では、事務所や流通施設、研究所、店舗などでの分譲を想定している。

プリウスが200万台突破

世界販売台数



世界販売が累計200万台を突破したトヨタ自動車のハイブリッド車「プリウス」

トヨタ自動車はハイブリッド車（HV）「プリウス」の全世界での販売台数が累計200万台を突破したと発表した。1997年の発売以降、100万台を超えるのに10年以上かかったが、100万台から200万台までを約2年で達成し、急速な普及を裏付けた。

政府のエコカー補助金制度が強力な追い風になった。世界的にも、原油高騰や環境意識の高まりで、低燃費と二酸化炭素（CO_2）排出量の少なさを売りにするプリウスに人気が集まった。

今年9月末までの累計は約201万台で、地域別では北米約93万台、日本約82万台、欧州約20万台。トヨタは2010年代の早い時期に世界で年間100万台のHV販売を目指しており、品ぞろえを増やしていく方針だ。

商工会議所ニュース〈1271〉

商工会議所web pageアドレス　http://www.inetcci.or.jp/

31日、みなと産業祭

来月6、7日　市産業交流フェア

ひたちなか

ひたちなか市の秋の恒例イベントが今月末と11月初めに相次いで開かれる。第26回みなと産業祭が今月31日午前9時から午後3時まで、那珂湊魚市場で開かれ、水産物や畜産物等の展示、即売が行われる。また、ひたちなか市産業交流フェアが11月6日、7日両日の午前10時から午後3時半まで、市総合運動公園で開催される。みなと産業祭はみなと産業祭実行委員会が主催。

人気のアンコウのつるし切りやマグロ解体ショーのほか、飲食コーナーでは旬の新鮮素材を使ったアンコウ鍋、つみれ汁、サンマバーガーなど秋の味覚が並ぶ。また、磯節道場の郷土芸能披露、巡視船あかぎの一般公開、スタンプラリー大抽選会などのイベントも予定している。

今回は那珂湊漁業協同組合主催による第7回「さんま祭り」も同時開催。サンマのつかみ捕りや炭火焼きなども楽しめる。

市産業交流フェアは、市産業交流フェア推進協議会が主催。

昨年の市産業交流フェア。毎回多くの来場者でにぎわう＝ひたちなか市

㊨勝つサンド（500円）㊧みなとの多幸めし（750円）

特設ステージでは、キャラクターショーや音楽やダンスのステージが行われるほか、市内の企業や団体のPRブースや農産物・工業製品の紹介コーナー、模擬店、姉妹都市の石巻市、那須塩原市の物産展を予定。

また、今回、初企画として、B―1グランプリに参加した「津山ホルモンうどん」（岡山県）や「石巻焼きそば」（宮城県）のほか、ひたちなかのご当地グルメコーナーを設け、幅広い年齢層が楽しめるイベントとした。

ひたちなか商工会議所は、ひたちなかグルメコーナーで、ご当地グルメとして考案した「勝つサンド」と「みなとの多幸（たこ）めし」を販売。地産地消による地域おこしを推進し、本市のイメージアップを図る。

「勝つサンド」は、県特産のローズポークを地元のパン屋さんオリジナルの全粒パンでサンドしている。「みなとの多幸めし」は、地ダコや那珂川のサケなどを使用し、地元の海の幸、山の幸をふんだんに用いた安全・安心のスローフードに仕上がっている。

同商工会議所は、「ひたちなかならではの逸品を多くの方に知ってもらいたい。地元の秋の味覚や新たな企画にもグループ、家族連れで参加いただきたい」と話している。

問い合わせは、同商工会議所総務企画課☎029（273）1371。

水戸　☎029（224）3315　F029（231）0160

鈦ちゃんリーグゴールデンチャレンジ2010前売り券販売中！　11月3日午前10時から水戸市民球場で行われる試合の前売り券を窓口で販売している。茨城ゴールデンゴールズは午後2時からの第2試合に登場する。S席（バックネット裏、1塁側鈦ちゃんシート）1500円、A席（3塁側）1000円。市内の一部の小売店でも販売している。取扱店や詳細は当所ホームページhttp://mito.inetcci.or.jp/で確認を。

日立　☎0294（22）0128　F0294（22）0120

経営革新講座　27日と11月1日、12日、15日、25日、30日の6日間、午後6時から商工会議所会館で開く。本講座では、経営革新承認取得を目指す。講師は中小企業診断士。受講無料。詳細は経営相談課へ。

新年名刺交換会　2011年1月6日午後4時からホテル天地閣で開く。締め切りは11月30日。参加希望者は所定の申込書に記入のうえ、1人1000円を添えて総務課または市役所秘書課へ。

ひたちなか　☎029（273）1371　支所（263）7811

健康セミナー「心と体の健康管理」　26日午後1時半から商工会議所で開く。医学ジャーナリストの植田美津恵氏から人としてリーダーとしての健康への留意点を聞く。無料。詳細は経営相談課へ。

ドゥナイトマーケット13周年記念　16日午後6時から明神町商店街で行う。フリーマーケットや模擬店、市民の音楽演奏のほか、記念事業として、海外旅行など豪華景品が当たる大抽選会などイベント盛りだくさん。詳細は那珂湊支所へ。

石岡　☎0299（22）4181　F0299（22）6321

「不況に打ち勝つ事業計画の作成」セミナー　企業経営者を対象に22日午後2時～4時、開く。内容は①「中小企業の会計」の意義・必要性②財務会計の構造を知る③どのようにして資金体質を強化するか④利益計画・資金計画の策定⑤月次決算を行い資金繰り表を作る⑥税制改正のポイント―など。講師は公認会計士の牧真之介氏。無料。会場は石岡駅前通りのサポート・ワン。申し込み、問い合わせは商工会議所へ。

土浦　☎029（822）0391　F029（822）8844

つちうら経営塾　28日、11月4日、11日、19日（全4回）に効果的なコストダウンの仕方を学ぶ「つちうら経営塾」を開く。時間はいずれも午後7時～9時で会場は商工会議所。内容は財務的に自社の状況を把握し、効率的な経営や、生産性の高い仕事を実現する方法などの講義と実習。参加費は会員1000円、非会員5000円。申し込み、問い合わせは商工振興課へ。

古河　☎0280（48）6000　F0280（48）6006

年金相談　20日午前10時～午後2時、商工会議所で年金に関する相談会を開く。相談員は下館年金事務所担当者。希望者は事前に下館年金事務所☎0296（25）0834に予約を（完全予約制）。

金融相談　22日午前10時～午後3時、商工会議所で金融相談会を開く。相談には、日本政策金融公庫土浦支店の担当者が応じる。秘密厳守。希望者は事前に商工会議所へ連絡を。

下館　☎0296（22）4596　F0296（25）0412

簿記検定　11月21日施行の簿記検定試験の申し込みを22日まで受け付ける。希望者は受験料1級7500円、2級4500円、3級2500円、4級1600円を添えて商工会議所へ。

商工まつり　23、24両日の午前9時半～午後3時半、筑西市地域交流センターアルテリオ前広場で、「しもだて商工まつり2010」を開く。市内商工業者による取扱商品の展示・即売やお米と卵を主役としたまちおこし料理コンテストも予定。詳細は商工会議所へ。

結城　☎0296（33）3118　F0296（33）0304

日商簿記検定試験　11月21日施行の簿記検定試験（1～4級）の受験申し込みを22日まで受け付ける。受験希望者は、1級7500円、2級4500円、3級2500円、4級1600円を添えて商工会議所へ申し込む。詳細は総務課へ。

記帳指導　個人・青色申告事業者を対象に帳簿のつけ方、税務申告の仕方などの指導・相談を行っている。希望者は電話で確認のうえ、帳簿類など必要書類一式持参で商工会議所へ。